

社会福祉法人 恵春会

事業総括

1 はじめに

令和5年5月8日に新型コロナウイルスが2類から5類へと移行し、令和2年末から世界中で大流行した感染症の取り扱いに大きな方針の変更がなされることとなった。

移行により、マスクの着用や外出の自粛といった規制が徐々にではあるが解除され、結果人の移動が活発になり、旅行業や飲食業の景気が回復基調にあるなかで、感染の脅威自体は依然として続いているため、福祉においては、規制緩和と感染対策の両立に苦慮する状況となっている。

法人内の事業所においても、移行後はマスク着用や施設内での面会についてこれまでの感染対策を継続しつつ、ご利用者の外出外泊の申し出に柔軟に応じ、施設内外での行事やサロン活動等の地域との交流を積極的に推し進めたが、クラスター感染が発生したところもあり、ご利用者及び職員から多数の感染者を出すこととなった。この点については、感染の事例検討による振り返りを行い、さらに今年度策定したBCPを全体へ周知徹底することで、より効果的な感染対策を今後作成していきたい。

また、昨年度業績が下がった在宅関連のサービスについては、業績回復に向けて事業所内の体制の見直しを行い、加えて新型コロナの5類移行及び地域への積極的な営業活動を行うことによって、新規ご利用者の増加に繋げることができたため、コロナやインフルエンザ等の影響はあったものの、業績を大きく復した。一方で、入所においては、ご利用者の死亡退所や入院が相次ぎ、職員の退職もあって、定員の充足が思うようにならず、大きく数字を落とした事業所が出る結果となったが、職員の新規採用及び外国人技能実習生の受け入れによる人員の確保と、ご利用者の新規入所に向けた手続きを年度末にかけて迅速に進め、次年度へ繋げることができた。

さらに令和6年度からのトリプル改定に対する備えとして、制度改定の内容について協議する場を各事業所で設け、新規加算の取得や、改定後の制度下における各サービスの提供に関する体制作りを検討し、次年度からの収入の増加を図った。職員の処遇に関しても、今年度は就業時間及び休憩時間帯の見直しを行ったが、それに加えて給与規則も見直しを行い、夜勤手当の増額等、職員への待遇改善を定めた。

法人を取り巻く環境としては、国外情勢は未だ不安定が続き、その影響もあって、今年度は物価が上がる一方となった。次年度以降も状況は改善が見込めず、さらに少子化による人手不足が状況の悪化に拍車をかけており、先行きは決して楽観できない状況であるが、グループのスケールメリットを活用し、効率的な運

用を行って、今後も対応していきたい。

令和5年度の事業重点目標に対する法人全体での取り組みは、下記のとおりとなる。

2 事業重点目標

- (1) 福祉サービスの質の向上
- (2) 安定した法人経営の実現
- (3) 地域共生社会の実現と地域貢献
- (4) 「人財」の確保・定着・育成の充実

3 事業実施概要

(1) 福祉サービスの質の向上

ア 満足度調査による業務の評価と改善への取り組み

今年度は、各事業所において満足度調査を実施し、事業運営に関する様々なご意見を聞くことができた。いただいたご意見等については、それぞれの事業所内で協議し、改善に向けた取り組みを行った。

また、広報誌の発刊やインターネットでの情報発信に努め、コロナ禍でご利用者のご家族との繋がりが希薄にならないように内容の充実を心がけた。

イ 人材育成体制の整備・強化による専門職の養成

新人職員研修については、当該職員が所属する施設以外の各施設にも協力を要請し、法人全体の繋がりを意識した内容の研修を体系的に行ったが、管理職やリーダー職員の養成といった点や取り組みの平準化といった点について課題が残る結果となった。

ウ 各事業所間の人材交流によるサービスの評価と見直し

今年度は介護職について施設間での人材交流を実施し、自分たちの施設以外での業務について相互に評価を行い、意見交換を実施することで専門職による客観的な現状報告と中からは見えなかった課題への気づきを得ることができた。次年度以降も継続し、相互の理解と協力体制の構築に繋げていきたい。

(2) 安定した法人経営の実現

ア 入所施設における利用定員の充足及び新規ニーズへの対応による在宅関連事業の活性化

入所施設においては、ご利用者の死亡退所や入院が重なり、予定していた入所者数を下回った結果、大きく収入が下がった施設が出たが、在宅関連のサービスについては、地域内での営業活動や業務体制の見直しにより新規利用者の獲得に結び付き、昨年度低下した業績を大きく回復させることができた。また、令和6年度からの報酬改定については、厚労省からの情報が出たところで各事業所内において協議を行い、新規加算の取得や制度改正に向けた届出等の準備を進めた。

イ 外国人介護技能実習生の受入

令和5年5月に、国際介護人材育成事業団の協力により新規で4名の技能実習生を受け入れ、現在も順調に実習を行っている。しかし、先に受け入れていた4名の実習生については、令和6年1月をもって実習を終了し、特定技能への移行による残留を望んだが、それぞれの道へと進む結果となった。

ウ 建物建て替え等の長期予算計画の立案

将来の建て替え等の資金として充当するため、今年度も施設整備等積立金への積立を行ったが、建て替え費用の見込みや計画の立案には至らなかった。また、老朽化等の理由により交換を要する機器については、補助金等を積極的に活用し、できるだけ負担を抑えながら交換を行うことができた。

オ 収益率アップに向けた効率的業務への検討

各事業所で行っている毎月の事業運営会議において、月ごとの収支に関する報告を行い、職員へコストについての意識付けを行った。さらに業者からの物品購入においても、相見積もりの実施や競合を行わせることによるコストダウンを検討するように図った。

カ BCP（事業継続計画）の策定による感染症対策及び防災、事故等リスク管理への取り組み

令和5年度中の作成が義務となっていたため、感染症及び防災に関する事業継続計画を策定したが、今年度は訓練等による職員への周知はできなかつたので、次年度訓練等の実施及び計画の見直しによる計画のブラッシュアップを行いたい。

キ 働き方改革の施行に向けた諸規程の整備と働く意欲を高める取り組み

職員の就業意欲の向上と職場環境の改善を図り、今年度は、就業時間及び休憩時間の見直しを行い、職員の拘束時間を短縮することができた。また、最低賃金の引き上げに伴う職員の給与について見直しや夜勤職員への待遇改善を行うため、給与規則を改正し、夜勤手当の増額を行った。

(3) 地域共生社会の実現と地域貢献

ア 高齢・障害に係る法人運営を実施している利点を生かし、地域からの幅広い相談に応え、ともに地域を作る一翼を担う。

ささえりあ城南及び相談支援センター絆を通じて、地域における様々な課題を発掘し、必要に応じて法人から積極的に支援を行うことで、困難事例も解決へ繋げていくことができた。それぞれの事業に関する周知啓発に関する研修については、次年度実施に向け検討したい。

(4) 「人財」の確保・定着・育成の充実

ア ICT等の活用による業務省力化、職員の負担軽減への取り組み

特殊浴槽の購入や、移動式リフトの購入、また ZOOM 等によるオンラインでの会議やタブレットを用いた面会といった点に積極的に機器を導入し、職員の負担軽減を図った他、介護ソフトの導入による記録の簡略化を図り、

業者からの話を聞く等の検討を行った。

イ 就業時間、人員配置を主とした職員の労務環境の見直し

職員の就業時間について、主として拘束時間の短縮を目的として時間の見直しを行い、就業規則等の改正を行った。また、有給休暇の取得について、より取得しやすい環境を作り上げ、実績に繋げることができたが、業務分掌の見直しについては次年度以降の課題となった。

ウ 職員の雇用形態や職種、職責に応じた研修計画の作成

職員からのキャリアデザインシートに基づき、職員からの希望を受けて外部研修については一定の実績を上げることができたが、雇用形態や職種、職責に対応した計画的な研修は未実施となった。

エ 腰痛予防、ストレスチェック等の活用による、職員の心身の健康維持

職員への負担が高い介助について、ノーリフティングケアの一環として移動式のリフトを追加購入し、負担の軽減を図った。また、腰痛ベルトの支給や休憩室の整備により、環境面からのサポートを行った。

令和5年度 事業報告書

(自) 令和 5 年 4 月 1 日

(至) 令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人 恵 春 会

理 事 長 小 林 佳 之

1. 法人の概要

主たる事務所の所在地 熊本県熊本市南区城南町沈目 1502 番地
電話番号 0964-28-4680
代表者氏名 小 林 佳 之
法人認可年月日 昭和 48 年 11 月 6 日
法人認可番号 第 1009 号
設 立 登 記 年 月 日 昭和 48 年 12 月 5 日

2. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別	名 称	定員	
第1種社会福祉事業	障害者支援施設	くまむた荘	80	
	特別養護老人ホーム	祥 麟 館	50	
第2種社会福祉事業	老人デイサービス事業	祥麟館デイサービスセンター	25	
	小規模多機能型居宅介護	くまのしょう	29	
	障害福祉サービス事業	くまむた荘デイサービスセンター春秋館	20	
		くまむた荘ショートステイ	8	
		くまむた荘通所事業		
		日中一時支援・移動支援事業	8	
	障害者相談支援事業	相談支援センター 絆		
	老人短期入所事業	祥麟館ショートステイ	10	
生計困難者相談支援事業	恵春会生計困難者相談支援事業			
公 益 事 業	居宅介護支援事業	祥麟館居宅介護支援事業所		
	地域包括支援センター	熊本市南6地域包括支援センター		
	有償運送事業	くまむた荘		
	サービス付き高齢者向け住宅	くまのしょう	20	
合 計			242	

3 役員等の状況

理事 6名
評議員 7名
監事 2名

役員任期

理事及び監事 令和5年6月28日～令和6年度の最終のものに関する
定時評議員会終結の時
評議員 令和3年6月25日～令和6年度の最終のものに関する
定時評議員会終結の時

4 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

- ① 開催日 令和5年4月25日
※定款第28条第2項に基づく決議の提案
出席者 理事6名・監事2名
議案 1. 特殊浴槽の購入について
2. 評議員会の招集について
- ② 開催日 令和5年6月13日 場所：くまむた荘
出席者 理事6名・監事2名
議案 1. 令和4年度事業報告について
2. 令和4年度決算報告について
3. 役員改選に伴う候補者選定について
4. 評議員会の招集について
- ③ 開催日 令和5年6月28日 場所：くまむた荘
出席者 理事6名・監事2名
議案 1. 理事長の選任について
- ④ 開催日 令和5年8月16日
※第28条第2項に基づく決議の提案
出席者 理事6名・監事2名
議案 1. くまむた荘デイサービスセンター春秋館における特殊浴槽の
購入に関する入札結果の承認及び契約締結について
2. 評議員会の招集について

⑤ 開催日 令和5年11月6日 場所：くまむた荘
出席者 理事6名・監事2名
議案 1. 令和5年度補正予算案について
2. 諸規定の改正について
3. 評議員会の招集について
報告事項 理事長の職務執行状況報告について

⑥ 開催日 令和6年3月13日 場所：くまむた荘
出席者 理事5名・監事2名
議案 1. 令和5年度補正予算案について
2. 令和6年度事業計画案について
3. 令和6年度当初予算案について
4. 諸規程の改正について
5. 定年延長及び施設長の給与について
6. 評議員会の開催について
報告事項 理事長の職務執行状況報告について

⑦ 開催日 令和6年3月15日

(2) 評議員会

① 開催日 令和5年5月5日
※定款第14条第4項に基づく書面決議の提案
出席者 評議員7名
議案 1. 令和3年特殊浴槽の購入について

② 開催日 令和5年6月28日 場所：くまむた荘
出席者 評議員5名・理事2名・監事2名
議案 1. 令和4年度事業報告について
2. 令和4年度決算報告について
3. 役員改選に伴う候補者選定について
4. 諸規定の改正について
5. くまむた荘デイサービスセンター春秋館における特殊浴槽の
設置に係る入札の実施及び入札業者の選定について

開催日 令和5年8月25日

※定款第14条第4項に基づく書面決議の提案

出席者 評議員7名

議案 1. くまむた荘デイサービスセンター春秋館における特殊浴槽の
購入に関する入札結果の承認及び契約締結について

③ 開催日 令和5年11月14日 場所：くまむた荘

出席者 評議員5名・理事3名・監事2名

議案 1. 令和5年度補正予算案について
2. 諸規程の改正について

報告事項 理事長の職務執行状況報告について

④ 開催日 令和6年3月21日 場所：くまむた荘

出席者 評議員6名・理事2名・監事1名

議案 1. 令和5年度補正予算案について
2. 令和6年度事業計画案について
3. 令和6年度当初予算案について
4. 諸規程の改正について
5. 定年延長及び施設長の給与について

報告事項 理事長の職務執行状況報告について

5 理事・監事・評議員・職員の研修状況

(1) 研修名：令和5年度 熊本県社会福祉法人経営者協議会 経営研修会

内 容：講義「法人施設運営のためのコンプライアンス」

法律事務所 First Penguin 弁護士 菅田 正明 氏

開催日：令和5年5月29日

場 所：ホテル熊本テルサ

主催者：熊本県社会福祉法人経営者協議会

出席者：小林理事長、梅田理事

(2) 研修名：令和5年度 熊本県社会福祉法人役員向け会計研修会

内 容：講義「社会福祉法人の運営並びに会計について」

公認弁護士 立石 和裕 氏

開催日：令和5年7月12日

場 所：熊本県医師会館
主催者：熊本県社会福祉法人経営者協議会
出席者：梅田理事

- (3) 研修名：令和5年度 社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）
内 容：挨拶 熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長 小笠原 嘉祐 氏
講義「どこもかしこも人がいなくなる！ どうする社福」
全国社会福祉法人経営者協議会
制度・政策委員会 委員・専門委員
説明1「新体制発足！これからの全国青年会が目指すこと
～全国青年会取組報告・入会PR～」
説明2「物価高騰・報酬改定を乗り越え、
接続可能な経営を支えるために～全国経営協の取組～」
全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

開催日：令和5年 8月 30日
場 所：KKRホテル熊本
主催者：全国社会福祉法人経営者協議会
出席者：小林理事長

- (4) 研修名：第42回全国社会福祉法人経営者大会
内 容：基調報告「社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取組」
全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏
特別講演「ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想
～新しい公共的ビジョン」
千葉大学大学院人文公共学府公共研究センター長
小林 正弥 氏
第1分科会「風を読む、人材確保のトレンド
～人材確保・定着・育成」
第2分科会「ふるさとを守り抜く事業展開
～多角化・多機能化等、経営強化実践」
第3分科会「社会課題の解決、一歩前へ
～生活困窮や孤独・孤立への支援」
第4分科会「気づくことで傷つけない未来へ
～質の向上、虐待・権利侵害の防止」
第5分科会「社会福祉法人の新たな共生的役割を切り拓く」

パネルディスカッション
「わがまちの未来を切り拓く」

～いまある“フクシ”を超えていくために」
記念講演「人を動かす チームを伸ばす

～ピンチを脱する小さな一步の可能性」

元・阪神タイガース選手、野球解説者 赤星 憲広 氏

朝日放送テレビ株式会社アナウンサー 伊藤 史隆 氏

開催日：令和5年9月21日～9月22日

場 所：神戸ポートピアホテル

主催者：全国社会福祉法人経営者協議会

出席者：小林理事長

(5) 研修名：令和5年度 社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）

内 容：挨拶 熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長 小笠原 嘉祐 氏

講義1「どうする報酬改定とこども未来戦略」

全国社会福祉法人経営青年会 会長

全国経営協 制度・政策委員会 委員 村木 宏成 氏

講義2「まずは経営協ドック診断を！」

青年会 PR「タテとヨコ、つながり目指す構築を

～経営協 磯会長と青年会 村木会長の緊急対談～」

説明「こうなる処遇改善」全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

開催日：令和6年2月5日

場 所：KKRホテル熊本

主催者：全国社会福祉法人経営者協議会 熊本県社会福祉法人経営者協議会

出席者：小林理事長

(6) 研修名：令和5年度 全国経営協 高齢者福祉事業経営セミナー

内 容：挨拶「令和6年度報酬改定と全国経営協の取組」

全国経営協 高齢者福祉事業経営委員長 柿本 貴之 氏

説明「令和6年度報酬改定のポイント」

厚生労働省 老健局 高齢者支援課長 峰村 浩司 氏

パネルディスカッション

「令和6年度報酬改定への対応と今後の事業経営を考える」

全国経営協 高齢者福祉事業経営委員会

副委員長 本永 史郎 氏

開催日：令和5年3月4日

場 所：全国社会福祉協議会 灘尾ホール

主催者：全国社会福祉法人経営者協議会

出席者：小林理事長